

# 黒生海岸の清掃に参加して

松家 英彦

4月2日に黒生海岸の清掃を銚子ジオパーク推進市民の会とNALC銚子の総勢26名による共同活動として実施されました。

せでできません。漁業関係者からも銚子漁港は日本一汚いところという不名誉な噂も聞かされてきます。参加された皆さんの清掃によりゴミが一掃されました。ゴミがなくなると言われるのには驚かされた。この清掃はもう少し頻度を上げ(半年に一度)、辛抱強く清掃活動を続けていければと思います。

犬吠崎、犬岩、屏風ヶ浦は最近すいぶんゴミも少なくなり、銚子にいられたお客様に自信を持って紹介できるレベルと思いますが、この現状はともにお客様に恥ずかしくてお見



# キャベツまるごと体験ツアー

伊藤 小糸

三月二十八日、絶好の春日

和を迎え、銚子ジオパーク推進協議会主催で表題のバスツアーが開催されました。市内や神栖・旭などの参加者三十四名(うち子供十七名)に加えて、事務局から山田さんと高根さん、市民の会員十一名もスタッフとして参加しました。

出荷状況を説明して頂きました。次に、小畑町の寺井さんのキャベツ畑に移動。皆で春キャベツの収穫体験をしました。子供達は大人に手伝ってもらいながら、包丁でキャベツを切り取って両手で抱え、「こんなに大きくて重いキャベツは初めて」と大喜び。この畑の春キャベツは寺井さんが手塩にかけて自然農法で育てたもので、青々として柔らかな葉っぱは、瑞々しさ一杯でした。

お昼前に、銚子市民センターの調理室へ移動。参加者全員が七班に別れました。私は六班の調理をサポート。いざ調理開始という所で、ガスコンロの大きな方の火口が壊れており、ダイアルに「使用禁止」の札が下がっているのを発見。おまけに、今回は全ての野菜が千切り仕様なのに、六班の調理台には俎板が一枚しか見当たりにません。お母さん

達も少しガツカリされました。そこで相談の上、作業を分担。焼きソバはスタッフ用調理台のコンロを借りて私が担当し、スープとサラダは六班の調理台でお母さんと子供達が担当して、無事に調理が完成しました。みんなホッとして思わずニッコリの瞬間です。今回は、焼きソバの椎茸以外に、スープのシメジも旨味を発揮、サラダのドライ・パセリも効いて、皆が「美味い！」と食べてくれました。メニューの立案・材料の調達に始まり、当日は短時間で調味料を合わせて待ち受けてくれた、調理チームに感謝です。

食後、推進室の山田さんによる、スライドを使った銚子ジオパークの解説とクイズがあり、景品も出て、盛り上がりました。最後はジオサイト犬岩・犬若岬の見学。担当の私が犬岩の案内をすると、小学三年生が撮った写真を手渡し、今回のジオツアーは無事終了。皆様、お疲れ様でした。

最初は、JA千葉みどり営農センター銚子を訪問。玄関先で、市民の会スタッフが入った着ぐるみのちよーびーとジオっちよが皆さんを出迎えると、子供達は大喜び。参加者全員で記念撮影です。入荷の車が次々と入る中、センターの伊藤さんから春キャベツの特徴と入

私に感謝です。食後、推進室の山田さんによる、スライドを使った銚子ジオパークの解説とクイズがあり、景品も出て、盛り上がりました。最後はジオサイト犬岩・犬若岬の見学。担当の私が犬岩の案内をすると、小学三年生が

「犬岩のできたジュラ紀、知ってるよ、恐竜の時代でしょ」と好奇心満々。帰りのバスでは「犬岩についてもっと詳しく聞きたい」と小学生からリクエスト。「四月十五日十時から犬岩の無料見学会がある」と答えると、「十五日、水泳教室が九時半に終わったら行く」と興味津々の返事。別の家族のお母さんは「夏休み親子ジオツアーに今年も申し込むから先生も是非参加してね」とリクエスト。文化会館に到着後、アンケートと引き換えにJAで

社会教育課 文化財・ジオパーク室 山内 祥行(やまうち よしゆき) 今年4月からお世話になっております。出身は「棚倉構造線」で有名な福島県棚倉町で、「日本三大鉱物産地」として名高い石川町の高校に通っておりまして。幼少のころから鉱物に興味があり、高校卒業後は秋田大学工学資源学部(旧鉱山学部)で金属鉱床学を専攻しました。民間企業の派遣、契約社員、町立資料館の臨時、嘱託職員等を経て、この度、銚子市でお世話になることになりました。浅学菲才の若輩者ではございますが、何卒、よろしくお願ひします。

